

BIG BEN

- p1 林大使新年の挨拶
- p2 片山新会長インタビュー
- p3 領事便り：テロ情勢
- p3 2022年大使館休館日
- p4 クラブ新体制スタート
- p5 「びっぐべん」編集長交代
- p6 2022年度クラブ理事一覧
- p6 総会報告 他

新年の挨拶

謹んで新年の御挨拶を申し上げます。



林 肇大使
日本クラブ名誉会長

日本クラブには、新型コロナウイルスの感染が依然として収束を見せない中においても、教育・医療等様々な分野での在留邦人の方々への支援や日英交流促進の分野で大きな役割を果たしていただいていることに、感謝申し上げます。

一昨年末以来、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、昨年7月下旬からは規制が大きく緩和されたことに伴い、社会・経済・文化などの活動も再開いたしました。しかし、感染者数が引き続き高い水準にある中で、新たな変異株への対応も必要となっており、引き続き予断を許さない状況です。在留邦人の皆様におかれましては、感染対策に十分配慮しつつ、その都度自らの判断で行動することが求められる局面が多いものと存じます。今後とも、当館としては、そのような助けとなるための情報を迅速に提供して参る所存です。

昨年は、このような状況の下にあるにもかかわらず、日英両国の絆が一層深まった一年でした。まず、英国が議長を務めたG7及びCOP 26では、菅前総理、岸田総理、麻生前副総理兼財務大臣、茂木前外務大臣、林外務大臣、山口環境大臣がそれぞれ英国を訪問され、新型コロナウイルス対策、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向

けた施策、気候変動問題等、グローバルな課題で両国が一層連携を深めていくことを確認されました。

経済面では、昨年1月に日英EPAが発効し、その着実な履行を通じて、両国の貿易・投資の更なる促進が期待されています。また、英国のCPTPP加入に向けた手続も進んでいます。

安全保障・防衛面では、英空母「クイーン・エリザベス」をはじめとする英国海軍艦船の日本寄港は、「インド太平洋への傾斜」を発表した英国との「自由で開かれたインド太平洋」の推進に向けた象徴的な取組であり、今後とも日英防衛・安全保障協力の更なる深化に取り組みたいと考えています。

昨夏に開催された東京オリンピック・パラリンピックでは、両国の選手が大活躍するなど両国で盛り上がりを見せ、お互いの国への理解及び関心を更に深めるものになりました。

文化面では、ジャパン・ハウスの開館以来の訪問者数が昨年9月に100万人を突破したほか、大英博物館の葛飾北斎展やキュー王立植物園でのジャパンフェスティバルが好評を博すなど、英国の皆さんの日本への関心は一層高まっていると感じています。「文化大国」日本として、日本への関心が高まるこの機を捉えて、一層積極的に文化面での取組を進めていきたいと考えています。

当館は、皆様の御理解と御協力を賜りながら、かつてなく緊密なものとなった日英関係の一層の発展、並びに在留邦人の皆様への適切な支援及びサービスの提供に全力を注ぎたいと思います。

本年が皆様にとって幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

日本クラブ新会長インタビュー

安定した組織でさらに魅力ある会員サービスを

日本クラブの2022年度会長に就任した片山祥徳氏に、抱負や基本的な方針を話していただきました。

(聞き手は2021年度広報委員長・加藤秀央)

—— 新会長としての抱負を聞かせてください。

日本クラブは伝統のある組織。医療、教育、文化交流を活動の三本柱として、英国に在住する日本人の皆様の生活、日本企業の活動に貢献できる存在であることが目標です。

昨年、診療所を閉鎖する苦渋の選択をしましたが、一方でジャパングリーンメディカルセンターさんと協力して医療情報の提供を始めました。日本人学校と補習校を核とする教育の場を維持していくことも重要です。コロナ禍の影響で残念ながらこの2年近く日英文化交流のイベントはあまり実現できませんでしたが、少しずつ再開し、交流の機会を作りたいと願っています。会員の皆さんの意見を取り入れて、この3つの柱のそれぞれでもっと魅力のあるサービスを提供できないか、考えていきたいと思っています。

日英交流や医療・教育など英邦人へのサービスの提供は、これからも長期にわたって継続すべき活動で、そのためにも日本クラブが安定した組織であることが大切です。患者さんの数が減ってしまい収支が大きく悪化した診療所を閉鎖したことで、大幅な赤字が続くという事態は回避されましたが、まだ収支はマイナスという厳しい状況が続く見通しです。これからもコスト管理とともに、会費の値上げ検討を含め、色々な可能性を議論することは避けて通れないと考えています。会員の皆様の意見をうかがいながら、長期的に魅力のあるサービスや活動を提供できる安定した組織を作っていく方法を考えていきたいと思っています。

—— 日英関係をどうご覧になっていますか。

日本に対する温かい視線を感じますね。昨年東京五輪を伝えるBBCは、もちろん英国人選手への応援はすごかったんですが、それと同時にいろんな場面で日本への親しみが強くにじみ出ている、とてもうれしく感じました。

日本政府、英国政府ともに、日英関係がお互いの国益

に重要だという認識を共有しています。それが企業活動だけでなく草の根の交流にもつながっています。その意味で、二国間関係は良い環境にあると思います。英国にはジャパン・ソサエティのように、日本クラブと同じように日英交流を後押ししようという団体がほかにもあります。こういった団体と日本クラブとの連携も考えていきたいですね。

—— 山登りがお好きとか。

昨年夏、スコットランドのベン・ネビスに妻と一緒に登ってきました。往復で8時間、翌日は筋肉痛でした(笑)。ただ山頂から見る景色は本当に素晴らしく、他ではなかなか味わうことのできない充実感がありましたね。ゴルフに行かない週末は、ロンドン近郊などのハイキングコースに出かけたりもしています。

【プロフィール】

片山祥徳 (かたやま・よしのり) さん

三菱商事執行役員欧州地域代表兼欧州三菱商事社長。1962年岡山県生まれ。東京大学工学部卒業後、三菱商事入社。主に重電・エネルギー分野に詳しい。ニューヨーク駐在なども経て、2020年4月から英国駐在。ロンドンでは夫人と2人暮らし。

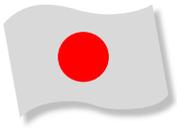


謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます



「びっぐべん」編集部一同



新型コロナウイルス変異株の流行による 水際対策変更への留意と英国のテロ情勢

今回は、新型コロナウイルス変異株の流行による日英両国における水際対策の変更への留意のお願いと、英国内での最新のテロ情勢と対策についてお伝えします。

1 新型コロナウイルスと水際対策

新型コロナウイルスの新たな変異株（オミクロン株）が出現し、英国では市中感染が広がっています。日英両国ともに水際対策が厳しくなり、入国及び帰国時の検査・検疫措置等が日々変更される様な状況です。皆様方におかれては、当館が発出する領事メールやホームページ等で最新の情報を確認いただきますようお願いいたします。

2 英国内のテロ情勢

(1) 最近の事件

11月14日、リバプールの病院前に停車したタクシーが爆発し、死傷者が発生しました。同15日、警察当局はこの事件をテロと認定しました。これを受けて英国政府は、英国におけるテロの脅威評価レベルを5段階の上から3番目のSubstantial（相当：テロ攻撃が発生する可能性が高い）から、上から2番目のSevere（深刻：テロが発生する可能性が高い）へと一段階引き上げました。（注：英国のテロ攻撃に対する脅威度は、英政府により、「危機的」、「深刻」、「相当」、「平穏」、「低」の5段階に設定されています。）

(2) イスラム過激派

英国内でのイスラム過激派によるテロとしては、アル・カーイダ、「イラク・レバントのイスラム国（ISIL）」等の思想に触発された個人が単独又は小グループでテロを行うローン・ウルフ型のテロが、引き続き強く懸念されています。英国は、国際テロ対策において軍事面を含め積極的な貢献をしていることから、イスラム過激派の攻撃対象の一つとなっています。

(3) 北アイルランド関連

和平路線に反対するアイルランド共和軍（IRA）の分派や独立系グループは、テロを継続しています。テロの主な対象は北アイルランドの警察等の治安機関ですが、北アイルランドにおけるこれらの関連テロの脅威度は「深刻」（5段階評価の上から2番目）が維持されています。

(4) テロの傾向

過去のテロによる日本人の被害は、シリアやアフガニスタンといった渡航中止勧告や退避勧告が発出されている国・地域に限りません。テロは、日本人が数多く渡航する欧米やアジアをはじめとする世界中で発生しており、近年では、単独犯によるテロや一般市民が多く集まる公共交通機関等（ソフトターゲット）を標的としたテロが頻発するなど、テロの発生を予測し未然に防ぐことがますます困難となっています。

(5) 対策

テロの標的となりやすい場所（公共交通機関、各種イベント会場、観光施設など、不特定多数の人が多く集まる場所や、宗教関係施設、政府関連施設等）を訪れる際には、常に周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知した場合は速やかにその場を離れ、現地当局の指示があればそれに従い冷静に行動するなどの安全確保に努めるようにしてください。また、普段からテロへの警戒を怠らず、報道等により最新の治安情報の入手に努め、安全対策を講じるよう心掛けてください。

令和4年（2022年） 在英国日本国大使館休館日

1月3日㊦ New Year's Day ㊦	8月11日㊦ 山の日
1月10日㊦ 成人の日	8月29日㊦ Summer bank holiday
2月11日㊦ 建国記念の日	9月23日㊦ 秋分の日
3月21日㊦ 春分の日	10月10日㊦ スポーツの日
4月15日㊦ Good Friday	11月23日㊦ 勤労感謝の日
4月18日㊦ Easter Monday	12月26日㊦ Boxing day
5月2日㊦ Early May bank holiday	12月27日㊦ Christmas Day ㊦
6月2日㊦ Spring bank holiday	12月29日㊦ 年末休暇
6月3日㊦ Platinum Jubilee bank holiday	12月30日㊦ 年末休暇

㊦：振替休日

年始は1月4日（火）より開館いたします。

事件、事故等の発生により、真に緊急を要する場合には次の電話番号にご連絡ください。

TEL: 020-3885-0807

英国日本国大使館領事窓口取扱時間（休館日を除く）

月～金：午前9時30分～午後1時00分
午後2時00分～午後4時30分

Embassy of Japan 101-104 Piccadilly, London W1J 7JT
http://www.uk.emb-japan.go.jp/itpr_ja/ryoji.html

日本クラブ新体制スタート (1)

日本クラブでは、診療所閉鎖という大きな転機を迎え、まずは財務安定化に注力しながら、組織改革を実行してクラブ運営の安定化を図りました。今後は魅力ある日本クラブを目指して、新しい会員サービス、在英日系コミュニティとの連携等を行い、会員の皆様の満足度を高めていきたいと思えます。クラブ事業の三本柱である「教育」「医療」「親睦・日英交流」は維持しながら、クラブの実態に合わせた運営体制の見直しを行いました。組織の簡素化を図り機動性を向上させるとともに、多様な価値観を取り入れることを目的として、理事会・委員会体制の再編を行いましたので、この新体制についてご説明致します。

大きなポイントは以下の3点になります。

① 9つの委員会を5つに再編成

クラブのコポーレート機能を担うクラブ運営委員会は、構成メンバーを拡充し、財務・人事等のコポーレート機能を集約しました。

また、会長・副会長とミラーの形でクラブ運営委員を設置し、会長・副会長とクラブ運営委員が機能的に連動することにより組織運営の厚みを増強し、安定感のある

体制にするとともに、クラブ運営ノウハウの蓄積・継承も考慮しました。

また、理事の人数も、委員会の再編に合わせて、従来の29人から19人に削減しました。

② 日英交流促進委員会と会員サービス委員会を統合

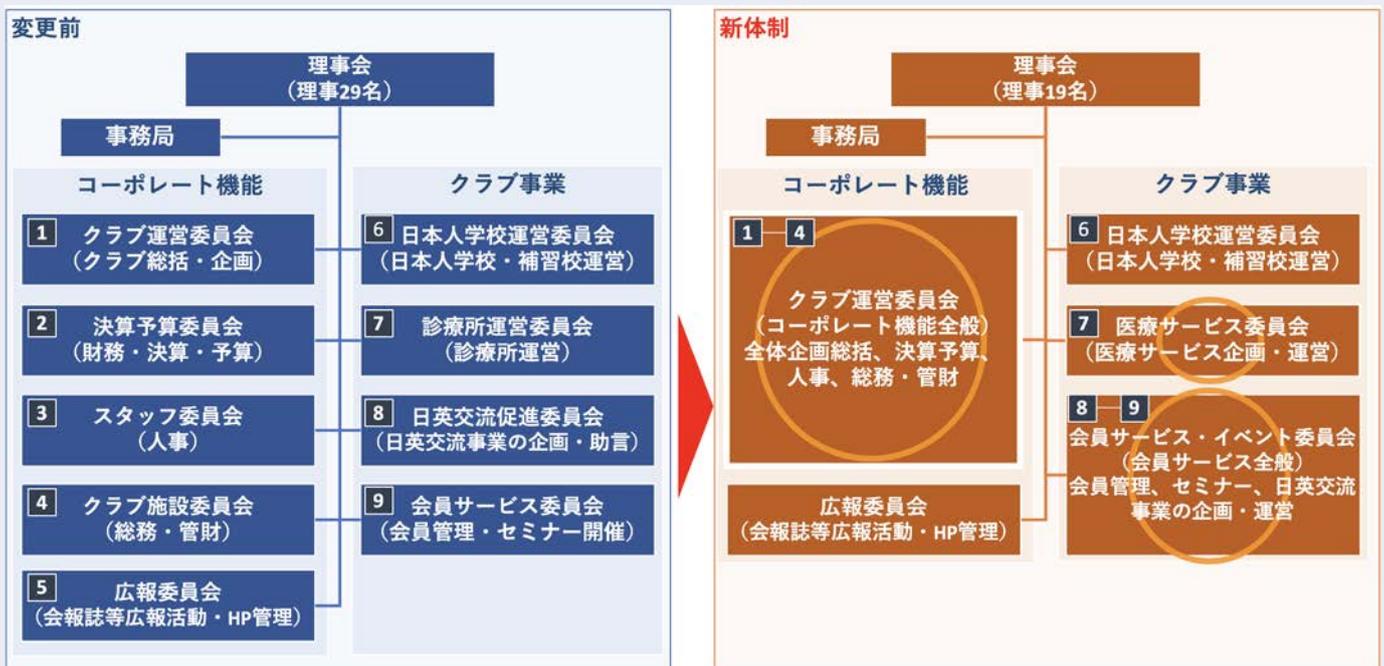
役割に重複感のあった会員サービス委員会と日英交流促進委員会を、会員サービス・イベント委員会に統合し、今後の日本クラブ事業を支えるコア委員会として再編しました。

また、駐在員以外の目線を取り入れることにより広く会員、更には在英邦人のニーズに応えられる組織にするために、同委員の公募も実施致しました。

③ 診療所運営委員会を医療サービス委員会に変更

日本クラブの活動目的の一つである医療については、会員および広く在英邦人の様々なニーズを吸い上げ、診療所運営に替わる医療サービスの企画・運営を通じ、会員並びに在英邦人の医療・福利厚生に貢献したいと考えています。

【委員会構成】



日本クラブ新体制スタート (2)

【日本クラブ理事構成と理事数】

<変更前>

名誉会長：特命全権大使

役名	人数
会長	1名
副会長	7名
決算・予算	3名
スタッフ	2名
クラブ施設	2名
診療所運営	3名
日本人学校運営	2名
日英交流促進	3名
会員サービス	2名
広報	1名
無任所	3名
合計	29名

<新体制>

名誉会長：特命全権大使

役名	人数
会長	1名
副会長	7名
<クラブ運営委員会>	
医療サービス	2名
日本人学校運営	2名
会員・イベント	3名
広報	2名
無任所	2名
合計	19名

【各委員会の活動概要と委員数】

	活動概要	人数
クラブ運営委員会	日本クラブのコーポレート機能全般を担う組織として、クラブ全体の統括・企画・運営を行い、クラブの執行体制（理事会）を事務局とともに支える。	7名
会員サービス・イベント委員会	日本クラブの会員向けサービス・イベントの企画・運営を行い、会員の親睦を深めるとともに、福利厚生に貢献し、生活の質の向上・満足度の向上を目指す。各種活動を通じて日英交流の発展に寄与する。	11名
広報委員会	会報紙等の広報活動を通じ、会員活動内容の紹介、大使館情報の伝達、生活情報の提供等を行い、会員に有用な情報提供を行う。	10名
日本人学校運営委員会	日本人学校・補習授業校運営全般。各種承認・報告議案の提起を受け、都度意思決定を行う。	8名
医療サービス委員会	会員および広く在英邦人の様々なニーズを吸い上げ、診療所運営に替わる医療サービスの企画・運営を通じ、会員並びに在英邦人の医療・福利厚生に貢献する。	6名

「びっぐべん」編集長が交代

<加藤節雄編集長が退任>

私が「びっぐべん」に最初に関わったのは、今から36年も前になる1985年でした。日本がバブル経済の頃で英国に駐在する日本のビジネスマンや家族が急増し、それに連れて日本レストランが増え始めた頃でした。私の最初の仕事はロンドンの日本レストランのリストアップをすることでした。その時に編集委員に任命され、2000年からは編集長としてずっと「びっぐべん」の編集に携わってきました。会員の役に立つ記事を掲載し、日本クラブの活動を反映し、また英国の日本人社会の歴史の記録として残るように努力してきました。

私自身は1970年に来英し、フリーのフォトジャーナリストとして、日本のメディアに英国のニュースやトピックス、英国人のライフスタイル等を紹介する記事や写真を送り続けてきました。

私は今年80歳になったのを機に、編集作業から身を引くことにしました。私の後任の安田和代さんを中心に「びっぐべん」が会員の皆様の役に立つ会報として継続し、日本クラブの増々の発展を祈念します。

長い間お世話になりました。

加藤節雄

<後任は安田和代編集長>

前任者の加藤節雄さんが築いてきた「身近で親しみやすく、生活に役に立つ情報を提供する会報」という特徴を大切に踏襲し、これからも会員の皆さまに愛していただける『びっぐべん』を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。



【安田和代さん経歴】

東京生まれ。大学卒業後、編集プロダクションにて雑誌編集者として働いた後、1995年に渡英。ライター・編集者として、雑誌や書籍、新聞、ウェブサイトなどの制作に携わる。編集プロダクションKRess Europeの代表。



(次号「びっぐべん」は2022年4月1日発行予定です)

2022年度 日本クラブ理事一覧表 (敬称略)		
名誉会長 特命全権大使 林 肇		
会長	片山 祥徳	三菱商事
副会長	横幕 勝範	三菱 UFJ 銀行
副会長	矢部 延弘	丸紅
副会長	宮田 裕彦	三井物産
副会長	芹澤 総太	日本郵船
副会長 (兼書記長)	山名 崇	住友商事
副会長 (兼副書記長)	戸田 真介	みずほ銀行
副会長	青木 健男	野村證券
医療サービス (正)	内山 貴由	双日
医療サービス (副)	福原 成吾	KDDI
日本人学校 運営 (正)	青木 健男	野村證券
日本人学校 運営 (副)	西田 直敏	日立
会員サービス・ イベント (正)	上原 裕之	日本航空
会員サービス・ イベント (副)	三島 秀樹	東京海上日動
会員サービス・ イベント (副)	今井 成人	農林中央金庫
広報 (正)	砂田 浩孝	共同通信
広報 (副)	光安 浩	全日空
無任所	花尻 哲郎	日本銀行
無任所	中石 齊孝	JETRO

日本クラブ年次総会 (2021年12月9日)

2021年度日本クラブ総会が12月9日(木) オンライン会議で開催された。クラブ名誉会長の林肇大使よりコロナ禍の中でも感染防止にも注意しながら会員のために活動を続けた日本クラブに感謝する意の挨拶があり、続いて各委員会からの活動報告、21年度決算及び22年度予算の承認、22年の活動方針、新役員を承認し、次年度の監査会社が指名・承認され、宮田前会長から片山新会長にバトンタッチが行われ、総会は無事に終了した。

2021年度決算・2022年度予算 (総会承認)

	2021年度決算	2022年度予算
〈経常収支〉	£	£
収入	590,763	404,232
支出	1,277,511	546,746
収支	(686,748)	(142,514)
〈経常外収支〉		
受取利息その他	1,514	0
税引前損益	(685,234)	(142,514)
法人税	0	0
税引後損益	(685,234)	(142,514)

日本クラブ・ ゴルフ同好会

- ◆月例会：開催中
- ◆会 場：Maidenhead Golf Club
- ◆問い合わせ：
☎ 07956-551363 (外山健二)
kenjitoiyama787@gmail.com
随時入会受付中 (申し込みはHP から)

日本クラブ・ グリーンコーラス

- ◆練習日：毎週月曜日 (10:15 ~ 12:30)
- ◆会 場：Trinity Church, Golders Green
- ◆問い合わせ：
londongreenchorus@gmail.com

日本クラブ・ブリッジ会

- ◆例 会：毎週木曜日 (11:30am 開始)
- ◆会 場：ヤングチェルシー・ブリッジ
クラブ (<http://ycbc.co.uk/>)
- ◆問い合わせ：
holbourne.sachiko@gmail.com
見学者歓迎

日本クラブ囲碁会

- ◆例 会：毎週土曜日 (14:00 ~ 20:00)
- ◆会 場：Inn of Court Pub
地下鉄 Chancery Lane
Exit 3 より直進 2分
- ◆問い合わせ：☎ 07956-594040 (田中)
tanaka@gokichi.org.uk



ジェレミー・ファーラー氏 旭日中綬章受章

ウェルカム・トラスト理事長でCovid-19対策で英国を代表する専門家としてグローバル・ヘルス分野で多大な成果を上げているジェレミー・ファーラー氏 (Sir Jeremy Farrar) が旭日中綬章を受章した。氏はまた日本との関係においてもGHIT (Global Health Innovative Technology Fund)、CEPI (Coalition for Epidemic Preparedness Innovations) への支援等を通して重要な役割を果たしてきた。叙勲の



伝達式は10月27日(水) ロンドンの日本大使公邸で行われ、式典で氏は公衆衛生の分野で日本の貢献への感謝の意とこれからも日本との連携を深めたいという希望を述べた。

(写真①日本大使館提供)

マイケル・レイク氏 旭日大綬章受章

元CBI (英国産業連盟) 会長及び元BT (ブリティッシュ・テレコム) 会長として、日系企業や日本政府と提携



し、日英間の経済関係の拡大、また、情報伝達技術分野のICT協力の強化に貢献してきたマイケル・レイク氏 (Sir Michael Rake) が旭日大綬章を受章した。叙勲の伝達式は12月2日(木) ロンドンの日本大使公邸で行われ、林大使から今後とも日英間の関係強化の後押しをして欲しいと期待が述べられ、レイク氏からは日本との思い出に触れつつ、今後も日英間の連携、経済関係強化がますます重要であり、引き続き貢献していきたい旨が表明された。

(写真②日本大使館提供)